

## 今号の作業

# マフラーを組み立てる⑧



今号ではエキゾーストパイプ4番をマフラーに取り付けるのに加え、先に組み立てたエキゾーストマフラー3番と連結する。これでCB750FOURの4本マフラーすべてがそろうことになるので、慎重に作業を進めよう。

### 今号のパーツ

- ①ディフューザーパイプ×1
- ②エキゾーストパイプ4番×1

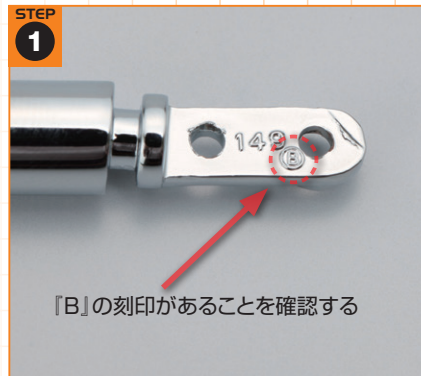
#### 用意するもの

- ・エキゾーストマフラー3番(19号で組み立てたもの)
- ・エキゾーストマフラー4番(20号で仮組みしたもの)
- ・ビス(Pタイプ/2.3×5mm)×4(20号で提供され、保管しておいたもの)
- ・ビス(Gタイプ/2.0×5mm・タッピング)×1(20号で提供され、保管しておいたもの)
- ・ビス(Bタイプ/2.0×5mm)×1(20号で提供され、保管しておいたもの)

#### 使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。



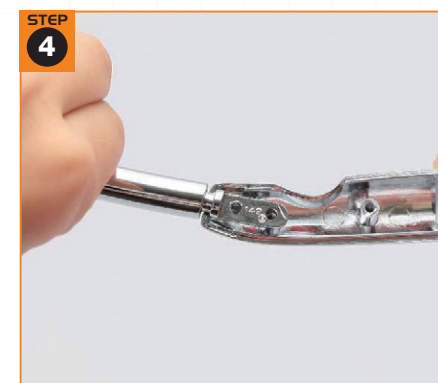
STEP 1  
②エキゾーストパイプ4番を用意し、先端にビス穴が開けられている側をチェックする。写真のように「B」の刻印があればOKだ。



STEP 2  
前回の作業で仮組みしたエキゾーストマフラー4番を用意し、マスキングテープをゆっくりとはがして、パーツを2つに分けておく。



STEP 3  
エキゾーストマフラー4番・外側を用意して裏返す。細くなっている側の一番端にあるポストに、エキゾーストパイプ4番の取り付け部分をセットする。



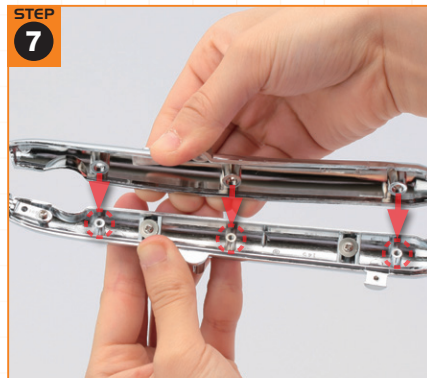
STEP 4  
エキゾーストパイプの取り付け部分にはリング状の突起が設けられているので、そこにポストの先端を確実にはめ込む。



Pタイプのビスを用意し、エキゾーストパイプのビス穴にセットする。



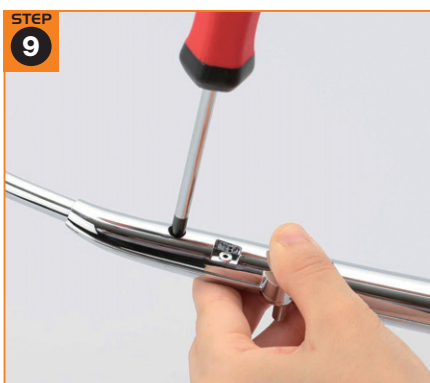
1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。



次にエキゾーストマフラー4番・内側を用意し、取り付け位置の確認を行う。エキゾーストマフラー4番・外側には、3カ所のポストが用意されているので、そこにビス穴を合わせてはめ込もう。



ポストと取り付け位置を合わせて重ねたら、エキゾーストパイプを取り付けた側のビス穴にPタイプのビスをセットする。



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。



続いて、中央のビス穴にもPタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーで締め込む。



①ディフューザーパイプを用意し、マフラー後端の形状と照らし合わせてみよう。ディフューザーパイプの側面にはくぼみがあり、マフラー開口部の内側には突起があるので、この位置を合わせて差し込む。



ディフューザーパイプをマフラー開口部から真すぐに押し込む。固くて押し込みにくい場合は、⑩で締め込んだPタイプのビスを少しだけ緩めよう。

STEP  
13



マフラー後端のビス穴に、Pタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーを使ってしっかりと締め込む。⑫で中央のビスを緩めている場合は、この段階で締め込んでおこう。

STEP  
14



19号で組み立てたエキゾーストマフラー3番を用意し、エキゾーストマフラー4番との取り付け位置を確認する。

STEP  
15



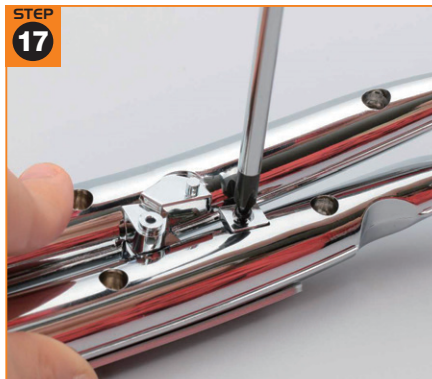
エキゾーストマフラー4番の取り付け位置に、エキゾーストマフラー3番を重ねてはめ込む。

STEP  
16



Gタイプのビスを用意し、エキゾーストマフラー3番と4番を連結する“前側のジョイント部分”にセットする。なお、GタイプのビスとBタイプのビスは見間違えやすいので要注意。20号の組み立てガイドの写真で再確認しよう。

STEP  
17



1番のプラスドライバーを使い、Gタイプのビスを締め込む。写真のように平らな台の上に置き、エキゾーストパイプ部分を押さえて作業するとやりやすい。

STEP  
18



続いて、リア側のジョイント部分にBタイプのビスをセットする。

STEP  
19



1番のプラスドライバーを使い、Bタイプのビスを締め込む。⑬の工程と同じように、平らな台に置いて作業しよう。

今号の完成



これで今号の作業は完了。マシンの右側面に装着されるエキゾーストマフラー3番と4番が完成し、4本のマフラーすべてがそろった。組み立てたパーツは破損しないよう、大切に保管しておこう。